地上局パラメータ	G_X (dBi)[4]	49[2]	6	10	6	6		46	46	46	46	46	46	50	50	52	52	36		48	48
	T_e (K)	500[2]						750	750	750	750	750	750	1500	1100	1500	1100	2636		1100	1100
参照帯域幅	B (Hz)	4×10^3	150 $\times10^3$	37.5 $\times10^3$	150 $\times10^3$	10^6		4×10^3	10^6	4×10^3	10^6	4×10^3	10^6	4×10^3	10^6	4×10^3	10^6	10^7		10^6	10^6
許容干渉電力	B 内の $P_r(p)$ (dBW)	-140	-160	-157	-160	-143		-131	-103	-131	-103	-131	-103	-128	-98	-128	-98	-131		-113	-113

改　表7c　送信地球局に対する調整距離の決定に必要なパラメータ

送信宇宙無線通信業務種別		固定衛星	…
周波数帯（GHz）		24.65-25.25 27.0-29.5	
受信地上業務種別		固定、移動	
使用される方法		§2.1	
地上局における変調[1]		N	
地上局干渉パラメータ及び基準	p_0 (%)	0.005	
	n	1	
	p (%)	0.005	
	N_L (dB)	0	
	M_s (dB)	25	
	W (dB)	0	
地上局パラメータ	G_X (dBi)[4]	50	
	T_e (K)	2000	
参照帯域幅	B (Hz)	10^6	
許容干渉電力	B内の$P_r(p)$ (dBW)	-111	

改　表8c　受信地球局に対する調整距離の決定に必要なパラメータ

受信宇宙無線通信業務種別			固定衛星		固定衛星無線測位衛星	固定衛星	固定衛星		気象衛星[7、8]	気象衛星[9]	地球探査衛星[7]	地球探査衛星[9]	宇宙研究[10]		固定衛星		放送衛星		固定衛星[9]	放送衛星	固定衛星[7]
													深宇宙								
周波数帯（GHz）			4.500 -4.800		5.150 -5.216	6.700 -7.075	7.250 -7.750		7.450 -7.550	7.750 -7.900	8.025 -8.400	8.025 -8.400	8.400- 8.450	8.450 -8.500	10.7-12.75		12.5-12.75[(12)]		15.4 -15.7	17.7 -17.8	17.7 -18.8 19.3 -19.7
送信地上業務種別			固定、移動		航空無線航行	固定、移動	固定、移動		固定、移動	固定、移動	固定、移動	固定、移動	固定、移動		固定、移動		固定、移動		航空無線航行	固定	固定、移動
使用される方法			§2.1		§2.1	§2.2	§2.1		§2.1、§2.2	§2.2	§2.1	§2.2	§2.2		§2.1、§2.2		§1.4.5			§1.4.5	§2.1
地球局における変調[1]			A	N		N	A	N	N	N	N	N	N	N	A	N	A	N	–		N
地球局干渉パラメータ及び基準	p_0 (%)		0.03	0.005		0.005	0.03	0.005	0.002	0.001	0.083	0.011	0.001	0.1	0.03	0.003	0.03	0.003	0.003		0.003
	n		3	3		3	3	3	2	2	2	2	1	2	2	2	1	1	2		2
	p (%)		0.01	0.0017		0.0017	0.01	0.0017	0.001	0.0005	0.0415	0.0055	0.001	0.05	0.015	0.0015	0.03	0.003	0.0015		0.0015
	N_L (dB)		1	1		1	1	1	–	–	1	0	0	0	1	1	1	1	1		1
	M_S (dB)		7	2		2	7	2	–	–	2	4.7	0.5	1	7	4	7	4	4		6
	W (dB)		4	0		0	4	0	–	–	0	0	0	0	4	0	4	0	0		0
地上局パラメータ	B内の	A	92[3]	92[3]		55	55	55	55	55	55	55	25[5]	25[5]	40	40	55	55			35
	E (dBW)[2]	N	42[4]	42[4]		42	42	42	42	42	42	42	-18	-18	43	43	42	42		40	40
	B内の	A	40[3]	40[3]		13	13	13	13	13	13	13	-17[5]	-17[5]	-5	-5	10	10			-10
	P_t (dBW)	N	0	0		0	0	0	0	0	0	0	-60	-60	-2	-2	-3	-3		-7	-5
	G_x (dBi)		52[3、4]	52[3、4]		42	42	42	42	42	42	42	42	42	45	45	45	45		47	45
参照帯域幅[6]	B (Hz)		10^6	10^6		10^6	10^6	10^6	10^7	10^7	10^6	10^6	1	1	10^6	10^6	27× 10^6	27× 10^6			10^6
許容干渉電力	B内の P_r (p) (dBW)					-151.2			-125	-125	-154[11]	-142	-220	-216			-131	-131			

表8cの注記：

1　A:アナログ変調、N:デジタル変調

2　E は参照帯域幅における干渉地上局の等価等方輻射電力として定義される。

3　この周波数帯では、見通し外通信システムに関連する地上局のパラメータが使われていた。主管庁が見通し外通信システムを考慮する必要がないと考えるのであれば、3.4-4.2GHzの周波数帯に関連する見通し内無線中継パラメータを使って調整区域を決定してもよい。

4　非見通し外通信と想定されるデジタルシステム。よって、Gx = 42.0dBi。デジタル見通し外通信システムに対しては、上記のアナログ見通し外通信システムのパラメータが使われていた。